



あくね



編集・発行／阿久根市役所 総務課 〒899-16 鹿児島県阿久根市鶴見町200番地



(阿久根小学校：お年寄りへ年賀状送付)

平成9年

1 月号

No. 600

ボクたちの年賀状 届きましたか



平成九年 年頭のあいさつ

公平・厳正な 市政をめざして

阿久根市長 齊藤 洋三

新年明けましておめでとうございませう。皆さまには、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えの事とお喜び申しあげます。

私は、昨年の市長選挙におきまして、市民の皆さま方から温かいご支援を賜り、第十三代阿久根市長に就任させて頂きました。心から感謝申し上げます。

そこで、市長就任に当たり市民の方々から求められている次の三項目を指針として、行政を推進して参ります。

第一に迅速でありたいということです。迅速に行動して物事に取り組み、解決する。この姿勢をきちんと守っていききたいと思ひます。

第二に厳正であります。これは、正しい「しせい」であるか、自分自身に問いかけながら、仕事を厳正に行い、常に正しさを追求することでありませう。そして、第三に公平であります。分け隔てのない、全ての市民に対する対応が公平でなければなりません。

この三つを基本に全ての市民に等しくサービスを提供し、さらに、市民の、市民による、市民のための行政を追い求め、誠実に温もりのある開かれた行政を目指し、より明るいまちづくりに努力したいと考えております。しかしながら、景気の低迷が続くなか依然として、国の財源不足等で厳しい財政運営が強いられ、さらに人件費や公債費などの義務的経費が増高し、政策的経費への財源確保が一段と厳しくなっております。



りますが高齢化社会を迎え、福祉施設の充実、産業基盤の整備、活力ある地域づくりなどの重要政策課題や緊急度の高い事業、投資効果の高いと思われる事業は積極的に取り組んでいきます。

また、先に策定された行政改革大綱に基づき、行政改革を強く推進しながら限られた財源の重点配分を考慮し、経費支出の効率化に徹して節度ある財政運営を図っているところであります。

昨年暮れの新聞でご覧になった方もあろうかと思いますが、市では、流通業界大手の協力を得て、本年一月に当市の特産品を東京のストアー数店で販売いたします。

市長就任以来、あらゆる機会を通じて本市を積極的にPRしてきました。豊かな自然と恵まれた素

材にどのように付加価値を付け、さらに演出できるか今後の課題でもありますが、「努力すれば必ず何かを得られる、道は開ける」と確信し、そして、市民の皆さまと共に新しい歴史を築き、市民が誇れる調和のとれたまちづくりを目指し、自信をもつて次代に引き継ぎたいと考えております。

また、市の懸案事項でもあります南九州西回り自動車道につきましては、昨年の暮れに「出水〜阿久根間」の事業化決定の報を受け、喜びに堪えないところでありますが、道路交通網の整備は物流、経済活動が飛躍的に進展すると確信し、地方の社会資本整備を疑問視する中央の声が聞こえるなか、「阿久根〜川内間」についても、基本計画決定に向けて関係自治体等とも

連携しながら引き続き、精力的に運動を展開していきたいと考えております。

昨年は「道の駅阿久根」がオープンし、新しい情報発信の場として賑わいを見せているところです。また、本年は県道阿久根東郷線の横座トンネルも開通し、空港へのアクセス道路として大きな期待をしているところでもあります。

今後、議会のご協力と市民の方々のご理解を頂きながら、開通に迫った二十一世紀に向け、安心して暮らせる、より明るいまちづくりに全力を傾注して参りたいと思えます。平成九年は、皆さま方にとりまして素晴らしい一年でありますとともに、限りないご多幸を祈念し、年頭に当たりましたのご挨拶といたします。



県道阿久根東郷線の工事中の最長橋「田代大橋」

おかげさまで「広報あくね」600号!

新年に向け新春座談会開催

新年への希望を語る

昭和二十七年四月に市政施行以来、毎月発行されてきた「広報あくね」が本月号で六百号になりました。
 さまざまな情報、話題、お知らせなどを掲載し続け、阿久根市の歴史と発展を証明するものとして歩み続ける「広報あくね」ですが、これからも市民の皆さまの「協力」と指導をいただきながら、親しみ、愛される紙面づくりに努力していきます。
 そこで、六百号記念として、農業、漁業、商業、観光で活躍されている五名の方々に、新年に向かっての抱負や夢などを語っていただきました。

司 会 みなさん明けましておめでとうございませう。みなさま方には要職にあられて、しかも、お忙しい時にお集まり頂きまして、本当に有難うございませう。
 本日は毎月発行している「広報あくね」が一月号で六百号を迎えることになり、その記念ということで開催することになりました。
 昨年九月十一日より齊藤市長が就任し、四ヵ月を迎えます。そこで、各界のみなさんに新年にあたり活力ある阿久根の創造に向けて、近況の報告と抱負を語っていただきたいと思っております。
 初めに、齊藤市長が新年にあ



松崎 徳男 さん

生産者のための活動を

司 会 それでは早速ですが、各界の現状等もふまえてごあいさつをいただきたいと思っております。
松崎 昨年の農業の現状において、広域的な農家、組合員の意識・組織作りに努力してきたところですが、経済の流動化のなか、とりわけ狂牛病、O・157、新食料法にもとづく米価問題など、厳しい状況があったと思います。すなわち第一次産業はもとより、消費者の立場においても影響の多かった年でし

たつてのあいさつをいたします。
市長 みなさん明けましておめでとうございませう。私は就任してから四ヵ月が経過しました。その間、経験しました事から今

後どのような街づくりをしていけるか、みなさんとともに夢のあるお話し合いをしていきたいと思っております。

座談会出席者

(敬称略)

阿久根市長	齊藤 洋三
JA鹿兒島いづみ農業協同組合 常務理事	松崎 徳男
黒之浜漁業協同組合 組合長	野村 義也
阿久根市特産品協会 会長	下 蘭 泰兵衛
阿久根市観光協会 会長	浜 田 藤 男
阿久根商工会議所 会 員	太 田 幹 生

た。今後、私たちは農家の立場にたつた、信頼される農協づくりによりいっそうの努力をしなければならぬと思います。

野村 水産業については近年たいへん厳しい状況であることはみなさんご承知のとおりであると思います。かと言ってあまり厳しいことばかり言っておれないのですが、本年一月一日から国際海洋法の締結にもとづく漁獲可能量の設定が施行されました。本県は漁獲量の設定がされており、まだ、恵まれた方ではないかと思えます。今後は漁業においても法律で規制される面が多く、厳しくなるのではないかと思われます。その反面、規制緩和は着実にとられていくのではないかと予測されます。



浜田 藤男 さん

厳しいということを言っているだけでは始まらないので、漁業を含め各業種において結束して、今後生き残りをかけて活動をおこすべきかということが課題で

ブランド化と商品開発

下 市内の農水産品に付加価値を与えて販売するのが私たちの仕事です。しかし、この業界は競争が激しく、かつ、消費者の嗜好に合わせていくのが問

はないでしょうか。みなさんが力を出し合い、気持ちが一つになれることが第一ではないかと思えます。

しきはひとしおであります。その中で、やはり問題点としては規制緩和によりますます大型店の出店による販売力の増大であり、そのため、市内の小売店はかなりの影響を受けているということとです。それから、本年四月から施行される労働時間短縮などの問題があり、人件費のコストアップなど小規模な経営体では

積極的な市民サービスを展開

司 会 それでは、みなさまから様々な現状や問題点、今後の取り組み方についてご意見を伺っていただきましたが、ここで、市長のご意見をうかがいたいと思います。

難問を抱えているのが実情です。商工会議所では現在、活性化対策特別委員会を設置しておりますが、その中で商店街の活性化や、定住人口の増、流動人口を受け入れる施設の整備、夏祭りの再建等に取り組んでおります。また、みなさんのご意見、ご協力をお願いしたいと思います。

いいかと思えます。今後は漁業においても法律で規制される面が多く、厳しくなるのではないかと思われます。その反面、規制緩和は着実にとられていくのではないかと予測されます。

期待できるのではないかと思えます。相対的な特産品協会の伸びというのはいずれかですが、そして期待できるもう一つは阿久根の製品のブランド化です。西友関連と取り引きができるようになることで、全国に製品を出し、その中で、様々な知識を取得し研究して全国的な競争ができる商品開発ができると思います。言葉は行政を始め、各業界とタイアップしながらいい場所に、いい商品を展開させていきたいと思っております。あ



下関 泰兵衛 さん

市 長 人口減少の問題や、昨年



青藤 洋三 市長

か。
浜田 間もなく県道阿久根東郷線の横座トシネルが開通します。それに合わせて東郷町との交流も昨年からはまりました。トシネルの開通によって阿久根が文化、経済の発展が期待できるのではないのでしょうか。そこ

力を合わせて発展に努力

司会 それでは次に本年に向けての抱負についてお話を伺いたいと思います。

松崎 老齢化、後継者不足等に悩む農家が多いのは事実で、農家の方々が希望の持てる農業政策を講じていくためJAとしても努力しています。昨年、大手スーパーと豚肉の取り引きで年間一万二千トンの契約を結びました。さらにバレイショ・柑橘類の選果場、ヒラタケ生産施設がオープンしました。今後は市場の動向を見ながら農家にと

って期待の持てる販売体系にさらに努力をしていきたいと思えます。
野村 海洋動物性プランクトンが多くなりつつあり、漁獲量にも明るいきざしが見え気持ち的にも前向きである。昨年の三漁協合同役員会においても漁協

司会 ただいま、市長から新年に対する希望も含めて話されました。そのほかごさいませ

で、新しい形態の商店街をつくり、専門店街化すれば集客力が増えてくるのではないのでしょうか。それと、阿久根大島に関連して、船の発着場を新港に移せば駐車場を確保できるのではないのでしょうか。

運営の基盤強化、漁協職員や組合員の意識改革による組織づくり、漁場・資源の復活などの意思統一がなされ、新年に向けて明るい展望が開けていると思えます。

それと、観光面についてはですが、阿久根市は確かに地の利に恵まれていないのは事実ですが、自然の豊かな阿久根の良さを出せるような環境づくり・人間づくりが大切ではないのでしょうか。

下 田 観光については行政と民間の協力が大切です。また、阿久根には他にない、人を引きつける特別な魅力が必要ではないのでしょうか。それと、観光宣伝についても交通機関との協力や何かの付加価値をつけるなどの方法も検討できるのではないのでしょうか。

太田 私どもはこのような状



太田 幹生 さん

協力しながら市の発展に努めたいと思います。

商工業の分野では、将来を見通した問題、間近な問題、現時点での問題があります。将来的にどの様な構想で商店を発展させていくかよりも、間近な問題として小さいながらもしっかりと商店につくり直していかなければいけないというのが課題です。

また、市のPRについてはテレビメディアを利用した方が効果的ではないかと思えます。観光、特産などの個別のPRよりも、市全体のイメージを含んだコマニシャルを過年で流すことで、各分野にわたり効果があるのではないのでしょうか。

阿久根の魅力を引き出す

司会 ここで、広報六百号に際し、提言等あればお聞かせください。

下 田 広報紙は新聞などと違って全世帯にいきわたり、多くの市民が注目しています。出来るだけ楽しい話題を掲載してより一層読んでもらう努力が必要ではないのでしょうか。市外に住んでいる当市出身者は読むのを

たいへん楽しみにしている。帰ってきたくなるような紙面を作ってほしいです。

野村 阿久根にしかないという物があるはずですが、阿久根に住んでいながら阿久根のことを知らない人が多い。市外の人に知らせる前に、市民の方々に阿久根の魅力や名所などを教えることが大事ではないのでしょうか。

司会 その他何かございませんでしようか。

野村 それぞれの分野で、お互いの問題点を話し合うことで理解し合え、初めてそこから協力し合えるのではないでしようか。そのなかで、一つひとつ問題を解決していかなければ、将来的にお互いの信頼関係にも影響が出てくるし、お互いの利益になってきます。そのような地域づくり、街づくりが大事なのではないでしようか。

市民一体となつて 市の発展に努力

司会 それでは最後に市長にお願いします。

市長 本日は長時間にわたり、貴重なご意見、そして希望のあるご意見をいただきありがとうございます。これらをとのよううにして実現していくかは、関係機関全員が意志統一をして、



野村 義也 さん

一致協力体制を整えていくことが大事だと思えます。そのためにはお互いが共通の理解と認識を持つことが必要ですので、今後ともこのような話し合いをしなければならぬと思えます。

司会 やはりこのような話し合いの場を持つことが大事だと思えます。今後ともご協力をよろしくお願いします。

最後に、皆さまにとりまして良い年でありますようにお祈り申し上げて、本日の座談会を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。



「広報あくね」 で見る 阿久根の動き

()は発行月

- 1号(昭和27年4月) 阿久根市制施行
- 52号(29年9月) 阿久根の文目漬が全国菓子博覧会で一位
- 57号(29年12月) 市街地の名称決定
- 66号(30年4月) 三笠町合併(人口四万一千人)
- 180号(37年2月) 赤瀬川に皮革工場を誘致
- 201号(38年12月) 阿久根新港建設工事始まる
- 211号(39年10月) 市民会館建設始まる
- 264号(44年2月) 黒之瀬戸架橋着工決まる
- 266号(44年4月) 高松川防災ダム完成
- 295号(46年8月) 集中豪雨阿久根を直撃
- 301号(47年2月) 市の木に「ボンタン」決まる
- 328号(49年5月) 黒之瀬戸大橋開通(4月)
- 329号(49年6月) 「国民宿舍あくねオープン」
- 346号(50年11月) 鶴見、湯地区の都市計画構想まとまる
- 370号(52年11月) 秋晴れに初の市民運動会
- 379号(53年6月) 「自衛隊誘致」善戦すれど及ばず
- 380号(53年9月) 新庁舎完成
- 414号(56年7月) 「保健センター・働く婦人の家」近日中に着工へ
- 425号(57年6月) 市制施行三十周年「将来への発展新たに」
- 467号(59年5月) 郷土資料館オープン
- 468号(61年1月) 総合運動公園整備始まる
- 477号(61年10月) 野母崎との交流始まる
- 480号(62年1月) 隣西友と阿久根市が業務提携
- 481号(62年2月) 「全国に届け阿久根のイワシ」宅配便が大好評
- 490号(62年11月) 臨本バイパス全線開通
- 492号(63年1月) 「千百人が力走」ボンタンロードレース大会
- 504号(64年1月) 「番所丘公園」整備に着手
- 513号(平成元年10月) 阿久根市民病院スタート
- 525号(2年10月) 「黒之瀬戸大橋」十四年早い無料化
- 534号(3年7月) 第三次市総合開発計画策定
- 542号(4年3月) 県道阿久根東郷線が本格着工
- 545号(4年5月) 市制施行四十周年記念式典
- 567号(6年3月) 横座トンネル本格着工
- 570号(6年7月) 待望の総合体育館完成
- 574号(6年10月) 在宅介護支援センターオープン
- 584号(7年9月) 横座トンネルが貫通
- 590号(8年2月) 行政改革大綱策定
- 591号(8年3月) 大川に「道の駅」がオープン
- 596号(8年7月) 舞斎場「佛石の里」落成
- 598号(8年10月) 第五十回総合文化祭開催

脇本地区デイサービスセンター

建設に伴う施設整備補助金など

二億五千五百万円を追加補正

平成八年第四回定例市議会は十二月五日から二十日までの十六日間で開催され、平成七年度一般会計決算など九件を議定したほか、平成八年度一般会計補正予算を含む議案七件を原案どおり可決しました。

陳情については酒税の増税に対する反対の陳情を採択、二件を継続審査としました。また、酒税税率の据え置きに関する意見書、及び二決議を可決しました。

一般会計補正予算は、脇本に建設中のデイサービスセンターの施設等整備補助金など二億五千五百九十三万円を追加し、一般会計予算の総額を百十九億六千九百九十九万円としました。



建設中の脇本地区
デイサービスセンター

議案では補正予算のほか、人事案件として、欠員となつていた市の公平委員に市内脇本の東田忠郎氏(71)の選任に同意し、また、国家公務員の給与改定に伴う市職員の給与に関する条例の一部改正についての条例が可決されました。

継続審査となつた陳情については、「議員定数削減に関する陳情」を各常任委員会から選出された九名の議員による特別委

員会に付託し、「消費税率引き上げ中止を求める国への意見書の採択についての陳情書」を閉会中の継続審査としました。

また、議会の高い倫理観の保持と議員として市民の付託にこたえないため、「政治倫理の確立に関する決議」を賛成多数で可決し、「違法銃器根絶に関する決議」を満場一致で可決しました。

送迎して入浴・給食・動作訓練等を実施

デイサービスセンターを

脇本に建設中

4月から運営開始!

在宅で虚弱な高齢者を対象に、通所又は送迎して各種のサービスを提供することによって高齢者の自立促進、孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的、精神的な苦勞の軽減を図ることを目的とした「デイサービスセンター」が、脇本の下村区に建設中であり、四月のオープンに向けて急ピッチで工事が進められています。

脇本・折多地区の在宅高齢者等が対象

◆利用申請など詳しくは、

当市には一施設ありますが、今回は社会福祉法人三笠会(黒木康文理理事長)が建設。高齢化社

会が進むなかで、北部地区にも同センターの建設を望む声が多かっただけに喜ばれることはまちがいありません。

運営開始は四月からになりますが、対象者は脇本と折多地区の方々で、それ以外の方は既存の桜ヶ丘荘の利用になります。

リフト付きのマイクロバスで送迎を行い、入浴や給食サービス、日常動作訓練、健康チェック、家族介護者教室などが行われ、在宅介護の福祉充実が求められていくなかで、同地区民からも大きな期待が寄せられています。

市福祉事務所 高齢者対策係へ
☎031211(内線1413)



いきおいよくスタート!

3200人が ボンタン路を快走

第13回 ボンタンロードレース大会

市の代表的行事となった「第十三回あくなねボンタンロードレース大会」が十二月八日、市総合運動公園を発着点に開催されました。

今回は絶好の天気にも恵まれ、沿道には多数の市民や参加者の家族が声援を送り、走者総勢三千二百人は青空のもと、黄色みがかかったボンタンを見ながら健脚を競いました。

また、選手は走り終えた後の市内特産品などが当たる抽選会や、スポーツドリンク、漬物やふかしイモ、イワシなどが提供され、また、雨天練習場での特産品フェアなどで、阿久根の魅力を満喫していました。



頑張れ
あと少し

ボンタンロードレースご協力のお礼

この度開催した「第13回ボンタンロードレース大会」に際し、多くのボランティアの方々や市民の皆さまにご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで無事に大会を終了することができました。今後ともご協力をお願いいたします。

ボンタンロードレース実行委員会

会長 阿久根市長 斉藤 洋三

大勢の市民で賑わった

アクネ・うまいネ・ 自然だネまつり

本市の特産品を一堂に集めた「産業祭（アクネ・うまいネ・自然だネまつり）」が十二月十四日と十五日の両日、市民会館と市民体育館を会場に開催され、多くの家族連れなどで賑わいました。

展示・販売コーナーとなった市民体育館には、野菜や花などの農産物からシャツや靴などの商工業製品まで、市内の特産品や生産品が数多く並べられ、年末・年始を間近にひかえたことであって、袋を抱えながら会場

内を散策する来場者が多く見られました。

市民会館大ホールでは、お祭り広場が開かれ、市内の保育所などの園児によるお遊戯やお芝居、郷土芸能の山田楽が披露され、様々な商品が当たるお楽しみ抽選会もあり、また、抽選にはずれた方にももちが配られて、参加者はたいへん喜んでいました。

屋外ではうどんや焼き鳥などの出店もあり、来場者はゆっくりとお祭り気分を楽しみました。



野崎満浩さん(折口東区)が 農林水産大臣賞を受賞

—— 県肉畜共進会 ——

鹿児島県肉畜共進会が十二月七日、伊集院町の鹿児島中央家畜市場で開催され、折口東区の野崎満浩さん(36)所有の「高男号」が、見事に今年度県内和牛の最高峰である「ブランドチャンピオン」(農林水産大臣賞)に選ばれました。

この共進会は肉牛の飼育管理の向上などを目的とするもので、県内十地区の予選を通過した去勢牛四十三頭、雌牛三千九頭が出場し、体形やバランス、毛など厳しく審査されました。その結果、去勢の部で優秀賞の一等になるとともに、ブランドチャンピオンに輝いたものです。野崎さんは、大阪で開かれた全国農業協同組合連合会主催の枝肉共進会でも一回、今回の共



新たに2人を認定し
36人へ[∞]

認定農業者制度

進会でも平成五年に農林水産大臣賞を受賞しており、最高級の肉牛を育てています。しかし、今回出品した「高男号」は子牛で購入されてから特に特別な飼育はしていなかったとのこと、受賞に喜びとともに驚いていました。畜産業界は、経済低迷などによる消費者の購買力が落ちたことなどにより厳しい状況ですが、野崎さんは「畜産農家にとって飼育上のコスト削減などの問題は深刻ですが、市内にはゼンチクがあり、輸送コストなどでだいぶ助かっている。今後もいい品質の肉牛の飼育に手掛け、レベルの向上に努力したい」と話されています。

市では農業経営のプロを育成しようとする「農業経営改善計画の認定制度」いわゆる認定農業者制度に取り組んでいます。



今回、園田常男さん(古里区)と京田一雄さん(瀬之浦上区)の二人を新たに認定しました。認定農業者制度とは、農地などの経営規模の拡大や集約化、

食生活改善推進員が

子供料理教室開催

カルシウムや塩分などを上手に使い分け、健康な体を養ってもらおうと十二月二十六日、市食生活改善推進委員(田島始恵会長、四十六人)の方々が折多小学校を訪れ、子供料理教室を開催しました。

食生活改善推進委員は普段の健康な食事のとりかたから乳幼児の食事相談など、栄養面の指



おいしすぎてつい「おかわり」

複合化することで効率よく農業経営をしようとする方を市が認定し、関係機関の様々な支援や制度上の優遇措置を図ろうとするものです。

導などを行うとともに、推進員と受講者とのふれあいによって地域住民の生活環境の改善も担っているもので、小学生から高齢者、婦人を対象に活動を行っておりです。

この日は、臨本地区の推進員七名と、折多バレーボールスポーツ少年団員十九名により、スキムミルク入りのきのこご飯と青菜のむしケイキ、みそシチューづくりに挑戦しました。参加した団員のほとんどが最初に包丁の持ち方から特訓。講習をする推進員の方々は近所の人とあって、すぐにうちとけて熱心に質問したりしていました。

「自宅ではあまり手伝わない子どもも、みんな協力することによって料理の楽しさを味わってもらい、栄養に対する知識を養って欲しい」と推進員の方々は話していました。



出水工務店(職場の部)が 3連覇達成

(第45回 市駅伝競争大会)
(第8回 市女子駅伝競争大会)
(第1回 小学校駅伝競争大会)

恒例となった第四十五回市駅伝大会が十一月一日、市総合運動公園を發着点に今回から初めて周回コースで開催されました。当日は曇(みぞれ)まじりの雨が降るあいにくの天気となりましたが、四十六チーム、二百三十人の選手らはほほを赤く染めながら懸命に走りました。

なお、結果は次のとおりです。
〔市駅伝大会〕
〔職場の部〕
▽優勝 出水工務店▽二位 阿久根ゼンタク▽三位 阿久根市役所B▽四位 阿久根ゼンタクソフトボール部▽五位 野村建設工業A

恒例となった第四十五回市駅伝大会が十一月一日、市総合運動公園を發着点に今回から初めて周回コースで開催されました。当日は曇(みぞれ)まじりの雨が降るあいにくの天気となりましたが、四十六チーム、二百三十人の選手らはほほを赤く染めながら懸命に走りました。

恒例となった第四十五回市駅伝大会が十一月一日、市総合運動公園を發着点に今回から初めて周回コースで開催されました。当日は曇(みぞれ)まじりの雨が降るあいにくの天気となりましたが、四十六チーム、二百三十人の選手らはほほを赤く染めながら懸命に走りました。

恒例となった第四十五回市駅伝大会が十一月一日、市総合運動公園を發着点に今回から初めて周回コースで開催されました。当日は曇(みぞれ)まじりの雨が降るあいにくの天気となりましたが、四十六チーム、二百三十人の選手らはほほを赤く染めながら懸命に走りました。

恒例となった第四十五回市駅伝大会が十一月一日、市総合運動公園を發着点に今回から初めて周回コースで開催されました。当日は曇(みぞれ)まじりの雨が降るあいにくの天気となりましたが、四十六チーム、二百三十人の選手らはほほを赤く染めながら懸命に走りました。

恒例となった第四十五回市駅伝大会が十一月一日、市総合運動公園を發着点に今回から初めて周回コースで開催されました。当日は曇(みぞれ)まじりの雨が降るあいにくの天気となりましたが、四十六チーム、二百三十人の選手らはほほを赤く染めながら懸命に走りました。

恒例となった第四十五回市駅伝大会が十一月一日、市総合運動公園を發着点に今回から初めて周回コースで開催されました。当日は曇(みぞれ)まじりの雨が降るあいにくの天気となりましたが、四十六チーム、二百三十人の選手らはほほを赤く染めながら懸命に走りました。



赤瀬川児童館



折多保育所

赤瀬川児童館と折多保育所では、それぞれ十一月一日と七日、開設三十周年を迎えて、記念式典や児童のお遊戯会が開催されました。

式典では過去十年間の歴代後援会長さんを表彰し、その後、園児らのお遊戯会が行われました。園児の保護者には園の卒園者もあり、時の流れを噛みしめながら、自分の子どもの演技を見守っていました。

開設30周年を記念して 記念式典を開催

(折多保育所)
(赤瀬川児童館)



どのボンタンが1番?

— 尾崎ボンタン品評会 —

尾崎ボンタン振興会では12月9日、尾崎公民館で地区内で収穫されたボンタンの品評会を開催し、尾崎小学校と交流を行っている西目小学校の児童も審査に参加しました。

今年は春先の低温とカメムシの異常発生により実のつきが悪く、収穫量は例年より少ないとのこと。しかし、各会員から出品されたボンタンは見事な物ばかり。

審査票を手にした児童らは自分の顔ほどのボンタンを手に取り、重さや色、つやを確かめていました。児童の審査が終わった後の本審査で、特賞に選ばれたボンタンを見事に当てた児童もいて、目の確かさに会員らは驚いていました。

自然の味「黒砂糖」は大人気!

— 脳本の松本製糖 —

県本土で唯一の製糖工場である脳本の松本製糖では、12月上旬から黒砂糖づくりが始まり、工場周辺はあまい香りに包まれていました。

約40年前から行われており、脳本地区の1.2割で栽培されるサトウキビを原料にして、圧搾機で絞り、絞り汁を釜で煮詰めるというものです。煮詰める時間などで品質の善し悪しが決まるため、気の抜けない長年の感がたよりの仕事。

出来た製品は市内の商店のほか、ボンタンロードレースや産業祭で販売され、また、遠くは東京、大阪からの注文もあり、たいへん好評を得ています。



地区の産物など一堂に展示

— 上桑原城農業祭 —

上桑原と呼ばれる上桑原地区の農業祭が12月7日、桑原城地区構造改善センターで開催されました。農林業の振興や文化の向上にと始まって以来今回で14年目。地区内の各戸から出品された農産物や工芸品など約300点が展示・即売されました。

即売は競りで行われ、威勢のいい掛け声とともに会場に詰めかけた客から次々に競り値が出され、ねらいの品物を手に入れています。

林野庁長官表彰受賞

— 米次えのきだけ生産組合 —

このほど開催された農林水産祭の全国林業経営推進行事で、田代地区にある米次えのきだけ生産組合が、県内で唯一林野庁長官表彰を受賞しました。

同生産組合は地区内の農家四戸が集まって昭和60年に設立し、以後、良質なえのきだけの生産を行ってきました。

代表理事の丸塚貞雄さんは、今後も優良な製品を生産していきたいと話していました。





ジュニアオリンピック優勝の快挙

— 岩崎友美さん —

昨年10月に行われた第27回ジュニアオリンピックで走り幅跳びに出場した阿久根中学校二年の岩崎友美さんが、このほど斉藤市長を訪れ、優勝の報告をしました。

岩崎さんは小学生の時、陸上スポーツ少年団に所属して短距離を中心に活躍していましたが、中学校から幅跳びを本格的に始めてから県大会などで活躍し、昨年8月の九州中学校陸上競技大会の共通女子走り幅跳びでは第2位になるなど、目ざましい活躍をしています。

今回の優勝に際して岩崎さんは「指導して下さった先生方のおかげです。今後もがんばります。」と話していました。

施設を訪れ交歓を図る

— 鶴川内子ども育成会 —

鶴川内子ども育成会では12月15日、地区内にある盲養護老人ホーム鎌の実園を訪れ、入園者と交歓を図りました。

同育成会では、地区のふれあいを持つと毎年行っているもので、当日は小学校5、6年の子どもたちとその父母ら約60人が早朝から施設内の掃除などをした後、歌やハンドベルを使った演奏をして、入園者から盛んな拍手を贈られました。

その後、つきたての餅を贈ろうと中庭で餅つきを行い、子どもたちは重い杵を力一杯、一生懸命にっていました。

入園者は餅が大好きで、施設に贈られた餅は、焼いたり、ゼンザイヤきな粉餅などにしておやつとして出されます。



お年寄りに年賀状を出そう

— 阿久根小学校 —

阿久根小学校の5・6年生が、高齢者とのふれあいを持つと、校区内に住む80歳以上のお年寄りに年賀状を書きました。

同校では核家族化が主流となっている現在、お年寄りと接する機会になればと、昨年敬老の日にはハガキを出したのがきっかけで、今回、年賀状を出すことになったものです。

子どもたちは、先生にハガキの書き方などを教えてもらい、1人が1枚から2枚の年賀状を書きました。年賀状には「どうぞ長生きをしてください」「人生まだまだ長いです」などと、子どもらしく、かわいく書いてあり、児童たちはお年寄りから返事のハガキが来るのを楽しみにしています。

チャリティー餅つき大会開催

— 駅前通り会 —

年末の恒例行事になった駅前通り会のチャリティー餅つき大会が12月14日開催されました。

地域の活性化にと始められ、今回で14回目になるこの大会はこれまで雨にあったことがないというだけに、当日は絶好の晴天に恵まれました。用意された餅米は90%、あんこ10%。市長も特別参加し、杵と臼を置いていねいにつかれ、ひと袋4個入りを200円で販売し、話を聞きつけたお年寄りから子どもまでの大勢の方々が行列ができていました。また、販売と同時に歳末募金も呼びかけられ、集まった売上金と募金は市社会福祉協議会へ寄付されました。



今月の新着図書

児童書▽うそつきの天才▽つるつるしわしわ▽ねこなき山小学校▽ねこのオーランド▽一三びきのねこのてがみ▽ヴァン・ゴッホ・カフェ▽魔法の学校▽ミュー一族 他多数

一般書▽村田喜代子「硫黄谷心中」▽大林太良「海の道海の民」▽阿川佐和子「おいしいおしゃべり」▽黒岩重吾「鬼道の女王(上下)」▽村山由佳「君のためにできること」▽水木揚「拒税同盟」▽岡高徳「岡さんの餃子」▽宮城谷昌光「春秋の名君」▽シドニイ・シエルダン「神の吹かす風(上下)」▽童門冬二「小説・毛利元就」▽西岡一「生活毒物」▽高橋直樹「戦国歌歌」▽グラハム・ハンコック「創生の守護神(上下)」▽伊集院静「でく」▽北原亞以子「東京駅物語」▽文芸春秋編「日本の論点97」▽長野まゆみ「鳩の柄」▽辻邦生「花のレクイエム」▽坂東眞砂子「山姥」▽逢坂剛「よみがえる百舌」▽江国香織「落下する夕方」 他多数

遠く住む子ら思ひつつ秋深む夜の厨に甘酒つくる

上野 亀沢 笑子

漸くに癒えゆく兆し冬日背に受けつつ新聞めくる安らぎ

折口 白浜 ノブ

冬くもる入江の渦に音もなく寄る朝潮を橋に見て佇つ

脇本 宮原 範子

海見つつこの家に住みて二十年季節のうつろひに心はあそぶ

新町 遠矢 律

秋日さす浅き川面に光りつつ泳ぎ群れをり小さき魚らは

琴 平 川畑 スミ

点滴をわれは受けつつ薬なきままに逝きたる戦友思ひをり

赤瀬川 浦 清二

気ままなる一人ぐらしも時として灯ともる頃は侘びしさつのである

大丸 橋崎 幸

バス停に下り立つ友の手を取りて歩くとすれば足をひきづる

赤瀬川 薬瀬 紀夫

草取りて庭ひろくなる嬉しさに汗を拭ひてまた蹴をうつ

上野 古藤 和代

母亡くて乳飲み児のまま逝きしとふわが弟よ記憶には無し

上野 河南誠一郎

歴史スポット

莫新形七 (44)

こま いぬ 狛 犬 (高麗犬)

狛犬は神様を守護し魔除けのために神社や、寺院の前庭に設けられています。神社が普通で、まれに寺院に用いられています。市内の神社四六社中約半数に置かれています。寺にはありません。



八坂神社の狛犬

大(狛犬)となつて日本に伝わってきました。獅子の形が基本で左右一対にするのが原則で、体に向かいあわせて頭は前方へ向けます。左が口を閉じて吠(吠)え、右が口を開いて阿、玉をくわえているものもあります。隣、陽をあらわすのは仏教の説によるといわれますが、雄、雌とは限っていないようで、両方とも開口したり閉口したのもあるようです。

前脚を伸ばし、後脚を屈しているのが普通ですが、頭の上に一本の角をつけたり、前脚で寝あそびしたり、獅子とたわむれている動きのある形のものもあります。(本町八坂神社) 狛犬に代えて、祭神によっては狐(高ノ口稻荷神社)猪・牛などの形のものもあります。 屋内では木製(波留南方神社神殿内)で古く、屋外では石造りが普通で、金属製や陶製のものもあります。

誕生

おめでとう

12月24日届出分まで 奉敬称略
出生 児 保護者(区 名)
笹原 猪平 淳一(桐野下)
倉津 智也 修(内田)
花本 竜 勇作(上野)
渡辺 良介 秀之(牧内)
石原 智佳子 公人(段)
松元 優美 尚(遠見園)
橋元 菜緒 修(牧内)
大野 美来 孝一(桐野下)
池元 政樹 明(波留)
鳥越 七瀬 清志(湯)
宮前 楓也 輝彦(湯)

第5回 生涯学習フェア

日時 2月8日(土) 13時～
場所 市民会館大ホール

学びの輪を広げて、明るい町、豊かな人生を創りあげましょう。

シリーズ・阿久根市の福祉サービス⑥

「カゼをひいてしまったり、介護することができなくなってしまう。……こんな時にご利用ください。」

高齢者等ショートステイ事業

ねたきり及び痴呆性の高齢者や重度身体障害者を介護している家族が、病氣、ケガ、出産、冠婚葬祭、休養旅行、農繁期などの理由で介護できない場合、または、介護を必要とする高齢者などに介護者がいない場合に、一時的に特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、または、身体障害者更生援護施設で養護し、専門のスタッフでお世話します。

- 【対象者】
- (1) 特別養護老人ホーム
おむね65歳以上で、身体
 - (2) 養護老人ホーム
おむね65歳以上で、身体
 - (3) 身体障害者更生援護施設
身体障害者手帳を保有して
- 上または、精神上著しい障害があるため常時介護を必要とする方
- おむね65歳以上で、身体上または、精神上著しい障害があるため日常生活を営むのに支障のある方
- いる18歳以上の重度身体障害者

—— 利用料金と期間等 ——

◇利用料金（1日あたり）
 特別養護老人ホーム 2,140円
 養護老人ホーム 1,650円
 身体障害者援護施設 1,510円

◇利用期間
 原則として1週間
 ただし、やむを得ない場合は必要最少限の範囲で期間の延長ができます。

◇申し込み先及びお問い合わせ先
 福祉事務所 高齢者対策係
 ☎73-1211（内線 1413）

※申請時には専用の診断書が必要です。

消費生活講座 42

家計簿を利用していますか？

4月からの消費税率引上げに伴い、家計のやりくりも以前にまして、大変な作業になると思われます。それをうまく乗り切っていく為に、家計簿を見直してみるのはいかがでしょうか？

家計簿記帳のポイント

1. 予算化を進める。収入・支出・貯蓄の予定額を見積もると、自由に使える金額が判ります。
2. 記帳能力に応じて始める。費目分類や帳尻合わせにこだわらず、最も知りたい分野とか、興味のあるテーマを決めて取り組むと、抵抗なく記帳できます。
3. 集計は必ず行うこと。付けっ放しでは、完全な記帳も役立つデーターとはなりません。記帳データーをうまく活用しましょう。

家計簿記帳は“楽しく継続”したいものです。

※消費生活に関するご相談は、
 市役所商工観光課 消費生活相談窓口まで。
 TEL 73-1211 内線 1111



友達の輪 大石理香さん 116 波留区 (27)

趣味の多彩な私ですが、今、アロマセラピーに凝っているんです。寝るときや入浴のときなどに、いろいろなエッセンシャルオイルを使い分け、気分転換をはかるんです。皆さんも1回試してみませんか？ストレス解消にもなりますよ。

- ◎趣味 カメラ、園芸、ドライブetc……
 - ◎性格 ものおじしな性格かな？
 - ◎理想のタイプ 尊敬できるところを持っている人
- 次の友達を紹介してください。
 はい、次は牧内区の 落 理 絵 さんです。

こめいふくを お祈りします

12月24日届出分まで ※敬称略
 死亡者 籍(区名)

- 尾上 フミ 87 (大川島) 杉良春
- 松元 重雄 77 (陳之尾) 幸子
- 上藤 久仁 89 (波留) トモ子
- 南 ハツエ 87 (古里) タミ子
- 下蘭 マサエ 54 (新町) 崇
- 川畑 安照 58 (浜) 典子
- 南 進 87 (古里) ハルエ
- 川畑 トキワ 81 (大尾) 登喜義
- 若松 坂素 79 (大丸) 洋
- 寺地 ワサ 79 (尻無下) 仁八
- 高橋 ミツエ 76 (的場) 繁好
- 梶尾 義俊 78 (黒之浜) スマエ
- 佐瀬 スズ子 54 (佐潟) 篤雄
- 中野 フクマツ 81 (的場) 中村健一
- 石原 ヤエ 85 (大滝) 一
- 澤田 伸子 57 (中村) 築地ハツエ
- 岩崎 ミキエ 89 (高之口) 盛一
- 大田 春志 70 (尻無中) ミキ
- 花田 ツルエ 81 (仲仁田) 岩美
- 的場 エノ 66 (的場) 喜一
- 岩崎 アヤノ 77 (高之口) 正吉
- 中村 邦弘 74 (藤本浜) 晃久
- 松元 フヂエ 82 (古里) 京子

財政課

建設工事入札参加資格

審査申請書の受付

2月3日～28日

平成9年度の市の入札参加資格審査申請書を次のとおり受け付けます。

▽受付期間

2月3日(月)～28日(金)

▽受付場所

市財政課(水道工事関係は水道課にも申請書を提出)

▽提出するもの

- ①建設工事入札参加資格審査申請書(様式一) A4版サイズ
 - ②建設業法施行規則第十九条に規定する経営事項審査申請書の写し
 - ③建設業許可(変更)申請書の写し(添付書類を含む)
 - ④許可通知書の写し
 - ⑤主要機械器具明細書
 - ⑥法人と代表者の市納税証明書、身分証明書、工事経歴書、使用人数、技術者経歴書、主要取引金融機関
- なお、測量・建設コンサルタント業者等の申請にあつては、建設省の統一様式(A4版サイズ)

ズ)としますが市税納税証明書は必ず提出してください。詳しくは市役所財政課管財係まで。(☎73-1211 内線1222まで)

社会体育課

B&Gプールの一般開放します

社会体育課では市民の方々の健康増進に役立てていただくため、B&Gプールを一般開放します。プールは室内の温水で、安心してご利用いただけます。

ただし、利用いただけるのは一般の方のみとさせていただきます。(高校生以下は不可) また、希望日の前日までに予約をお願いします。

▽利用期間

2月4日(火)～3月19日(水)

※火曜日・金曜日(祭日除く)の18時30分～20時まで

▽利用料金

1時間 二百円

詳しいことのお問い合わせは社会体育課(☎73-4649)まで

阿久根漁港

「新鮮朝市」

2月は9日(日)開催

道路の占用には許可が必要です

道路敷地内(車道・側溝・法面等)に物を置いたり、不特定期間車を駐車したり、看板・パイプ等を設置してあるのが見受けられます。そのため、車道幅員が狭くなり、通学児童や一般通行人がたいへん危険な状況におかれています。

道路法及び阿久根市道路占用に関する規制では、占用物件等について規制が設けられています。やむを得ず占用する場合は、必ず道路占用許可申請書を市に提出し、許可を受けてください。

道路はみんなの財産。事故防止等のためにも、道路敷地内に物を置かないようお願いします。

◎次の場合にも届出が必要です。

- ・市道に隣接する土地の造成、建築工事等を行う場合(市道との境界確認申請書)
- ・市道部分への取り付け、側溝、乗り入れ口、水道管・ガス管の取り出し等工事(道路工事施工承認申請書)

※詳しくは、市役所建設課管理係までおたずねください。
☎73-1211(内線1121)

保健センター。2月の行事

母子のコーナー

期日	曜日	内容	対象者	受付時間
18日	火	1才6カ月児健診	H7年7月生	13:00 ～ 13:30
19日	水	6カ月児健診	H8年7月生	
26日	水	3カ月児健診	H8年10月生	13:00 ～ 13:30
28日	金	3才児健診	H5年8月生	

●のしこ予防教室(フツ素塗布)

期日	曜日	対象者	受付時間
24日	月	園科健診後3カ月以内の幼児	9:30 ～ 10:00

●母親学級

期日	曜日	対象者	受付時間
21日	金	お母さん・お父さんになる方	19:00 ～ 20:00

●子育て教室

期日	曜日	内容	対象者	受付時間
7日	全	親子遊びの実習	H7年3月～6月生	10:00 ～ 11:30

●予防接種(風しん予防接種)

期日	曜日	対象者	受付時間
4日	火	H6年4月2日～	13:30 ～ 14:00
5日	水	H7年4月1日生まれの者	
6日	木	H5年4月2日～	13:30 ～ 14:00
7日	金	H6年4月1日生まれで未接種者	

成人複合健診

- 健診内容
 ・基本健診(視診、心電図、血液検査、尿検査など)
 ・胃がん検診 ・大腸がん検診 ・腹部超音波検診
- 時間 受付は午前7時から9時まで 検診は午前7時30分から
- 申込み受付中(保健センターまでおたずねください)

期日	場所	期日	場所
2月4日(火)	西目地区構造改善センター	2月6日(木)	保健センター
2月5日(水)	保健センター	2月7日(金)	保健センター

お問い合わせ先 保健センター ☎73-3768

工業統計調査にご協力を

今年も12月31日現在で工業統計調査を実施します。

この調査は、製造業を営む全ての事業所を対象に、その活動状況を明らかにするために実施されるもので、工業統計調査員が訪問して行います。

その結果は、国や県の景気対策、中小企業対策、都市計画などの基礎資料や企業の経営計画等の参考資料として幅広く活用されています。

調査票の記入内容等については、統計以外の目的に使用される

阿久根農業高校が学科を新設

阿久根農業高校では平成9年度から次のとおり学科を新設いたします。全国で5番目になる環境土木科や、県内で初めて食料流通科ができることになりました。

【農業経営科】(定員男・女 40名)

植物の栽培や動物の飼育及び情報処理・生物工学等の先端技術に関する知識や技術を学習して農業経営者・農業技術者を養成します。

【環境土木科】(定員男・女 40名)※新設

都市計画・地域開発に必要な土木施工・環境緑化に関する基礎的な知識や技術を学習して土木・造園産業に従事する技術者を養成します。

【食品流通科】(定員男・女 40名)※新設

農業生産や食品の加工・流通経済に関する基礎的な知識や技術を学習し、食品産業及び関連産業に関する業務の技術者を養成します。

阿久根農業高等学校 ☎72-1140

ことばありませんので、調査票にご記入の上、指定された期日までに調査員に提出してください。

人以下、製造業・その他の事業は従業員20人以下の小規模企業の事業主であって、次の①～③の要件のすべてに該当する方。

県庁統計課商業統計係
☎099(286)2111
内線2480

特別小口資金 融資制度

県では、担保・保証人の提供が困難な中小企業の方に対し、無担保・無保証人の「特別小口資金」融資を行っています。

融資条件は次のとおりです。

○融資対象者
商業・サービス業は従業員5

①県内で1年以上引き続き事業を行っていること。

②所得税、法人税、事業税、又は県市町村民税の所得割のいずれかについて課税があつて、これを完納していること。

③県信用保証協会の保証を受けていないこと。

○融資限度額 750万円

○融資期間 5年以内

○融資利率
(平成8年12月1日現在)
▽問い合わせ先
県庁中小企業課金融係

☎099(286)2111
内線2948

社協だより

次の方々から市社会福祉協議会へ香典返しのご寄付がありました。ありがとうございます。

- 柴山繁(鶴ヶ浦東) 松元幸子(陳之尾) 東園サエ(高之口) 大尾貞雄(濁) 南タミ子(古里) 下蘭崇(新町) 花田ユキ(中村) 上脇トモ子(波留) 田上正(小渡) 寺地仁八(尻無下) 石原一(大渡) 川畑登喜義(大尾) 高橋繁好(約場)
- 篇志寄付
○「阿久根駅前通り会」チャリティ餅つき大会売上金

在宅医さん

- 1月15日(成人の日)
植村整形外科 ☎1041(段)
脇本病院 ☎2121(鶴ヶ浦西)
- 1月19日
山田クリニック
☎0420(本町)
- 1月26日
上園医院 ☎1055(本町)
- 2月2日
内山病院 ☎1551(高松)
黒木医院 ☎0200(下村)
- 2月9日
喜多医院 ☎0038(大丸)
- 2月11日(建国記念日)
門松医院 ☎0553(鶴見町)
- 2月16日
上野医院 ☎1228(港町)
- 2月23日
有村産婦人科内科
☎4180(栄町)

人事異動

平成9年1月1日付で次のとおり人事異動がありました。

(一)内は前職、○印は昇格者

- ▽総務課長 川畑裕(社会教育課長) ▽環境保健課長 若松好房(総務課長) ▽社会教育課長 鳥岡公貴(図書館長) ▽図書館長 植村満則(環境保健課長)
- ▽総務課長補佐兼職員係長 新栢清(企画課長補佐兼企画開発係長) ▽市民課長補佐兼任民係

長 山田実(総務課長補佐兼職員係長) ▽農政課長補佐 高瀬哲美(農政課長補佐兼管理係長)

▽社会体育課長補佐兼社会体育係長 蛟島善光(議事事務局次長兼議事係長) ▽議事事務局次長兼議事係長 鳴川森一(市民課長補佐兼任民係長) ▽農政課主幹兼管理係長 山下健一(財政課主幹兼管財係長) ▽総務課秘書広報係長 楠木祐一(農業委員会事務局) ▽財政課管財係長 猿楽善次(総務課秘書広報係長)

ワんちゃんのおきざり

○1月28日
○2月4日・13日・25日
時間 10時から10時30分まで
出水保健所から保健センターにひきとりにきます。

▽農業委員会事務局 蒲畑雄二(農政課)

所得税・消費税(個人)の申告と納税のお知らせ

平成8年分の所得税・消費税(個人)の確定申告が始まります。申告期限が間近になると、窓口がたいへん混雑して長時間お待ちいただくこととなります。申告と納税はできるだけ早めにお済ませください。なお、申告書の提出は郵送でも受け付けます。

所得税の確定申告期間	2月17日(月)～3月17日(月)
贈与税の申告期間	2月3日(月)～3月17日(月)
所得税・贈与税の納付期限	3月17日(月)まで
消費税(個人)の確定申告・納付期限	3月31日(月)まで

※上記期間中の土曜日・日曜日・祭日は開庁となります。

【阿久根地区納税相談】

月 日 2月17日(月)～21日(金)
場 所 阿久根市民会館2階会議室

- (注)1 消費税については、3月31日(月)までに出水税務署で相談を受け付けています。
2 所得税の還付を受けるための申告は、確定申告期間前でも受け付けています。
3 所得税・消費税(個人)の納税は口座振替をご利用ください。

▷お問い合わせ先
出水税務署 ☎62-0200

みりん小売業免許の申請について

今般の規制緩和により、もっぱら調味料として用いられるみりんについては、食料品店で販売出来るようになりました。ただし、エキス分40度以上で、かつ、千八百cc以下の容器で小売りする場合に限ります。

詳しいことは出水税務署(☎0200)または、商工観光課(☎1211内線1111)

市営住宅入居者募集!

お申し込み・お問い合わせ
都市計画課建築係
☎1211内線1172

までお問い合わせください。

「はたちの献血」キャンペーン

1月16日～3月5日までの1ヶ月間、「はたちの献血」キャンペーンを実施します。

このキャンペーンは、新たに成人式をむかえる二十歳の若者を中心に広く県民の方々に、献血思想の普及を図るとともに、今後一層の推進が望まれる成分献血、400cc献血への理解と協力をお願いし、冬季における献血者の確保を安全な血液の確保を図るために実施するものです。皆さまのご協力をお願いします。

- ▽お問い合わせ先
- ・県庁薬務課
- ☎099(286)2111
- ・日本赤十字血液センター
- ☎099(257)3141

愛の献血にご協力を

次のとおり集団献血を行います。市民の皆さまのご協力をお願いします。

1月23日(木)

午前9時30分～ 11時30分まで	午後0時30分～ 4時30分まで	JRあくね駅
午前9時30分～ 午後4時30分まで		阿久根市役所
午前10時00分～ 11時30分まで	午後0時30分～ 4時30分まで	Aコープ三笠店

陽子様(兵庫県西宮市)から寄付をいただきました。ありがとうございます。

編集後記

相 談
▽税金相談(商工会議所)
1月20日(月) 10時～15時
2月20日(木) 10時～15時
▽交通事故(市役所)
2月13日(木) 9時30分～15時30分

人 口
1月1日現在(は前月比)
人 口 27,939人(-10)
男 13,001人(+2)
女 14,938人(-12)
世帯数 10,596戸(-2)
出生 13人 死亡 24人
転入 56人 転出 55人

広報の送付お礼として、中島

篤志寄付

いよいよ平成九年がスタートしました。昨年のさまざまなお出来事も何かとおいことのように思えてきました。新しい年に目標や希望をかけた、意欲を燃やしている方も多いのでは。その目標が高いかどうかは別に、やるうとする努力が大事ではないでしょうか。▽市では新年度予算に向けて作業中です。限りなくサービスをいかに追求できるか、行政に携わる者にとってそれこそ努力の積み重ねです。▽今年「五年」。牛のごとく着実に一歩一歩目標に向かって進んでいきましょう。(昇)